

JAえんゆう広報誌

# ひざし

2019 11

No. 249



甜菜収穫が最盛期を迎えています！

## 育った牛たちが飼い主たちの元へ 令和元年度公共牧場退牧作業

晩秋をむかえ、上湧別・遠軽・白滝・生田原各地区の公共牧場で、5月に放牧した牛たちを飼い主の牛舎や育成センターに運ぶ退牧作業が、



退牧の様子

10月18日の白滝地区を皮切りに30日まで順次行われ、各地区合わせて958頭が退牧しました。各公共牧場で朝から始まった退牧作業では、利用農家・JA・各関係機関の皆さんが牧場に集まりました。乗降場に集められた牛たちを一頭ずつ確認と捕獲を行い、利用農家ごとに分けられ、次々と家畜運搬車に積み込まれていく様子が見られました。夏の間、新緑が眩しかった牧場で美味しい青草を食べてすくすくと育った牛たちが、それぞれの飼い主の牛舎で活躍してくれることをご祈念申し上げます。

## 甜菜の収穫が最盛期をむかえる

木々の葉が鮮やかに色づき始めた10月中旬から、えんゆう管内の各地区では、砂糖の原料となる甜菜の収

穫作業が最盛期をむかえています。収穫作業は、土に根付いた甜菜を、ビートハーベスターを使って収穫していきます。



甜菜収穫の様子

今年の甜菜は夏の雨不足により収量が心配されましたが、初秋に降った雨によって甜菜が大きくなり、圃場ごとに多少バラつきがあるものの、収量は平年を上回る見込みとなっています。収穫された甜菜は、畑の横や自宅脇などに一度置いた後、順次製糖工場に出荷され、精製作業を経た後、砂糖となって消費者の手に届きます。各地区での収穫作業は11月中旬まで続けられる予定です。

# 子どもたちが寒さに負けず熱戦へつとむる 第7回JAえんゆう・JAゆうべつ町組合長杯

JAえんゆうとJAゆうべつ町は、10月19日から20日の2日間の日程で、第7回JAえんゆう・JAゆうべつ町組合長杯少年少女野球大会を開催しました。湧別、遠軽町内および招

待チーム3チームを含めた8チームが参加し、中湧別野球場にてトーナメント形式で2日間合計8試合が行われ、子供たちが白球を追いかけ熱戦を繰り広げました。

大会初日は、開会式にて

JAえんゆう中川組合長より大会長挨拶を頂き、JAゆうべつ町友澤組合長の始球式より1回戦4試合が行われました。

## 見事優勝した 中湧別野球スポーツ少年団の皆さん

大会2日目は、朝方まで振り続いた雨の影響によりグラウンドの状態が悪く、大会後援チームの父兄の協力を得て球場整備を行い、大会を続行することが出来ました。今大会の結果は、準決勝を接戦で勝ち進んだ中湧別野球スポーツ少年団（中湧別）と湧別マリナーズ（湧別）の対戦となり、試合終盤まで互いに失点を許さない好ゲームを繰り広げておりましたが、最終ス

コア2対0で中湧別野球スポーツ少年団が接戦を制し優勝を手にしました。  
なお、早朝より球場整備にご協力頂いた父兄の皆様方、誠にありがとうございました。

### 大会結果(敬称略)

|       |     |         |         |
|-------|-----|---------|---------|
| 1回戦   | 遠軽南 | 0対13    | 湧別      |
|       | 佐呂間 | 7対0     | 潮見(不戦勝) |
|       | 遠軽西 | 1対5     | 紋別      |
|       | 中湧別 | 9対1     | 遠軽東     |
| 準決勝   | 湧別  | 6対5     | 佐呂間     |
|       | 中湧別 | 2対1     | 紋別      |
| 決勝    | 中湧別 | 2対0     | 湧別      |
| 最優秀選手 | 高橋  | 恭大(中湧別) |         |
| 優秀選手  | 仁木  | 悠雅(湧別)  |         |
|       | 大脇  | 颯真(佐呂間) |         |
|       | 三木  | 重毅(紋別)  |         |

### ◆ 今月の主な記事 ◆

- ◎ 令和元年度公共牧場返牧作業
- ◎ 甜菜の収穫が最盛期をむかえる…2
- ◎ 第7回JAえんゆう・JAゆうべつ町組合長杯……………3
- ◎ 青しその蒸留作業始まる
- ◎ 酪農学園大学「酪農公開講座」が開催されました……………4
- ◎ 令和元年度子供農業体験学習
- ◎ オホーツク農業祭
- ◎ 湧別町第9回ふるさと講座……………5
- ◎ JA女性部酪農部会視察研修
- ◎ JA女性部フレッシュユニズ研修会…6
- ◎ 第20回JAえんゆうカップパークゴルフ大会
- ◎ 年金友の会秋季パークゴルフ大会…8
- ◎ 農協法公布記念日にあたって…9
- ◎ 労働保険適用促進強化期間……………10
- ◎ JAGグループ通信……………11
- ◎ 普及センターより……………12
- ◎ 秋の農事部懇談会開催について…13
- ◎ 理事会のあらまし……………14
- ◎ クロスワードパズル
- ◎ 読者の声……………15
- ◎ JABバンクウィンターキャンペーン2019
- ◎ いもたま作造くん……………16

## 青しその蒸留作業始まる

えんゆう管内の遠軽地区と生田原地区では、9月に収穫して天日で乾燥させた青しそを蒸留して搾油する作業が10月上旬から始まりました。青しそは、すべて企業との契約裁

培でJAを通じて出荷され、サラダのドレッシングや菓子類など、風味調味料等につかわれています。今回取材にうかがった遠軽地区では、6戸の耕作者が約43haを栽培、10月2日から作業がスタートしました。



沢山の青しそを詰め込んでいきます

搾油作業は、大きな蒸留釜に収穫後乾燥させた青しそを詰め込み、蒸気をあてることで搾油します。およそ1時間かけて蒸留させた後、釜が開けられ、一気に蒸気が吹き出すと同時に、辺り一面には青しその良い香りが立ち込めていました。

各地区での蒸留作業は、10月下旬までおこなわれます。

## 酪農学園大学「酪農公開講座」が開催されました

10月18日、酪農学園大学主催による第57回酪農公開講座が湧別町郷土資料館ふるさと館JRY(ジェリー)にて開催され、当JA管内を始めとする農業関係者や同大などの同窓生

などおよそ60名が参加しました。酪農公開講座は、酪農学園大学の建学の精神「健土健民」の普及と「酪農生産者(同窓生)への貢献」を目的に開催されています。



公開講座の様子

また、酪農学園大学と湧別町、遠軽町、佐呂間町、JAえんゆう、JAゆうべつ町、JAサロマ、NOSAIオホーツクとの間では、「地域総合交流協定」を結び、学生の実習教育など様々な連携が団体間の相互協力により進められています。

基調講演では『酪農を未来へつなぐ』というテーマを基に、農食環境学群の吉野宣彦教授より「酪農経営のこれからと家族酪農」、続いて同学群の堂地修教授より、「乳牛の繁殖成績向上について」、それぞれ講演がおこなわれ、各講演終了後の質疑応答では活発に質問・意見が取り交わされました。

## 収穫した野菜で調理実習 令和元年度子供農業体験学習



美味しく作ることができました

「お兄さんが面白いことをいうから楽しかった。」と話しており、子供達との楽しい時間を共有することができました。最後に子供たちの「いただきます」の掛け声で青年部員と一緒に美味しく頂き、今年度の子供農業体験学習を終了することが出来ました。

毎年、食育活動の一環として上湧別小学校4年生児童とJAえんゆう青年部が行っております調理実習を上湧別小学校にて去る10月18日、一緒に小学校の圃場で育てた玉葱・人参・じゃがいも・ブロッコリー・スイートコーン・南瓜を使って開催しました。

今回の調理実習では、先生と子供達で授業の1〜2時間目で南瓜のスープ、ピザ作りを、3〜4時間目に青年部と一緒に鮭のちゃんちゃん焼、バター作り体験を行いました。

また、調理に使った材料は小学校の圃場で採れた野菜の他、南瓜のスープには湧別町札富美の福島牧場でとれた牛乳を、ピザには昨年度の上湧別小学校5年生の圃場でとれた小麦を使わせて頂きました。

青年部員は子供達に野菜の切り方、調理手順を丁寧に教える一方、料理を少々焦がしてしまふ等の出来事もありましたが子供達からは「お兄さんが面白いことをいうから楽しかった。」と話しており、子供達との楽しい時間を共有することができました。最後に子供たちの「いただきます」の掛け声で青年部員と一緒に美味しく頂き、今年度の子供農業体験学習を終了することが出来ました。

## 農業加工品販促活動と乳製品消費拡大をPR オホーツク農業祭



牛乳無料配布の様子

オホーツクのJA青年部が一同に集い、今年収穫した野菜や農業加工品などの販売と食育活動をおこなうオホーツク農業祭が、10月12日にサンドーム北見（北見市）で開催され、JAえんゆう青年部もJA製造のレトルトカレーの販売と乳製品消費拡大のPRとして、牛乳100個の無料配布を実施しました。

農業祭開始から各販売ブースの紹介を行い、当青年部から上湧別屯田市街地の小崎部員がJAレトルトカレーの紹介と牛乳無料配布の実施を伝えると、ブース前には長蛇の列が出来、10分程度で牛乳が無くなる盛況ぶりです。JAレトルトカレーの販売も多くの消費者の方に足を運んでもらいました。

今後も販促活動や消費拡大運動を青年部の各専門部とあわせて、随時行っていきますので、ご理解ご協力お願い申し上げます。

## 酪農への想いを語る 湧別町第9回ふるさと講座



講演する松浦三代紀さん(左)と増田悦郎獣医師(右)

聴衆の皆さんは熱心に耳を傾けておりました。講演終了後、意見交換会が行われ、盛況のうちには終了致しました。

湧別町のふるさとから学ぶ会と湧別町教育委員会は湧別町の歴史や文化、産業などを学ぶ機会として、ふるさと講座を主催しています。今回、10月26日にJAゆうべつ町にて開催された第9回ふるさと講座で、JAえんゆうの主力産業の1つである酪農をテーマに、湧別町北兵三区の松浦三代紀さん、当JAに勤務され、オホーツク獣医師会会長を務める増田悦郎獣医師が50名余りの聴衆を前にして講演されました。

松浦さんは、「酪農を夢見て北海道へ」として、自身が酪農家に嫁いだ想いを中心に、作業中に起こった出来事なども話されました。

次に増田獣医師による講演が行われ、「獣医師として酪農への想い」を話されました。湧別町の酪農がこの40年間でどの様に变化したかを詳しく説明して頂き、

## JA女性部酪農部会視察研修



女性部酪農部会研修の様子

JA女性部酪農部会は、10月16日から17日にかけて視察研修を実施し、部員5名で岩見沢市の瀬瀬能牧場、千歳市の北海道キッコーマン(株)を視察しました。

1日目に伺った岩見沢市の瀬瀬能牧場は、数々の共進会で好成绩を残しており、今年9月の安平町にて開催された共進会ではジャーシー部門でシニアチャンピオンを受賞された牧場です。

今回、代表を務める瀬能剛氏のご長男夫婦より牛舎内をご案内して頂き、最近の共進会に出陳された牛群を見学させて頂きました。また、仔牛の哺育舎についても見学させて頂き、参加した部員たちは熱心に質問や意見交換を行っていました。千歳市内で宿を取った翌日、千歳市にある北海道キッコーマン(株)を見学しました。醤油の歴史や醸造方法のほか、普段売られている醤油の種類など、幅広い内容を学ぶことができました。

## JA女性部フレッシュユミズ研究会



調理実習の様子

JA女性部フレッシュユミズでは、10月25日に遠軽町役場保健福祉センターげんき21にて参加部員6名で調理研修を行いました。減塩を中心テーマとして、献立を

部員みんなで考え、牛乳入りの豚汁とスパイスを使った2種類のカレーを作りました。スパイスを使ったカレーでは数種類のスパイスが偏らないようにバランス良く混ぜ合わせ、豚汁は味噌を減らして牛乳を入れる事で美味しく作ることができました。調理開始から2時間ほどかけて全品が完成、みんなで美味しく昼食を頂きながら、今後の研修について様々な意見を出し合い、無事に研修を終えました。

今後もフレッシュユミズでは様々な活動をおこなっていきたくと思いますので、よりしくお願い申し上げます。

# 11月13日（水）は 一日皆貯金の日です。

職員が伺いますので、宜しくお願い致します。

（11～15日まで窓口受付も賜ります。）



★抽選で、懸賞金が当たります。

## 懸賞金

|    |      |         |
|----|------|---------|
| 特賞 | 5本   | 10,000円 |
| 金賞 | 15本  | 5,000円  |
| 銀賞 | 35本  | 3,000円  |
| 銅賞 | 100本 | 1,000円  |

# JAえんゆう

本所 Tel01586-2-2160 中湧別支所 Tel01586-2-2004 遠軽支所 Tel0158-42-7221  
白滝支所 Tel0158-48-2311 生田原支所 Tel0158-45-2221

# 第20回J Aえんゆうカップパークゴルフ大会

10月20日(日)、湧別町五鹿山パークゴルフ場において第20回J Aえんゆうカップパークゴルフ大会を開催しました。

上湧別地区、遠軽町地区から多くの方々に集まっていたが、当日は84名(男子49名、女子35名)の方にご参加いただきました。

当日は早朝まで雨が降っておりましたが、競技開始時には晴天となり、参加者の皆さんは和気あいあいとパークゴルフを楽しんでおりました。上位結果は、下記の通りです。



優勝した和田秀則さん(右)と情野洋子さん(左)

[4コース パー132]

| 順位  | 男     | スコア             | 女     | スコア              |
|-----|-------|-----------------|-------|------------------|
| 優勝  | 和田 秀則 | 89(グロス 89、HD 0) | 清野 洋子 | 98(グロス 98、HD 0)  |
| 準優勝 | 久保 守  | 93(グロス 93、HD 0) | 熊谷 良子 | 99(グロス 99、HD 0)  |
| 3位  | 菊地 昭義 | 93(グロス 93、HD 0) | 田原 恙子 | 101(グロス101、HD 0) |

なお、同スコアの場合はカウントバック方式で順位を決定しております。

# 年金友の会秋季パークゴルフ大会

年金友の会は10月10日、秋季パークゴルフ大会を湧別町五鹿山パークゴルフ場白樺コースで開催いたしました。

今大会は上湧別地区16名、遠軽地区13名、白滝地区3名、生田原地区4名あわせて36名での開催となりました。

前日の強風の影響で、コースには枯葉が散乱しておりましたが、パ



ボールの行方はいかに・・・？

クゴルフ場の係の方が片付けをしてくださり、当日は天候にも恵まれ、絶好のスポーツ日和となりました。参加者の皆さんは時には真剣に、時には笑いあいのなか自己ベストをめざし、笑顔のうちに終了となりました。

競技結果については、下記のとおりとなっております。

## 今年の上位入賞者(敬称略)

### ●男子の部

- 優勝 青柳 恒敏(上湧別)
- 準優勝 加藤 勇(上湧別)
- 3位 森 正実(上湧別)
- ベストグロス 青柳 恒敏(上湧別)

### ●女子の部

- 優勝 石井 サチ(遠軽)
- 準優勝 水野 恵子(上湧別)
- 3位 小野 礼子(上湧別)
- ベストグロス 水野 恵子(上湧別)



# 農協法公布記念日にあたって

北海道農業協同組合中央会 代表理事会長 飛田 稔 章



本年9月30日、本会は平成27年の農協法改正に伴い法律上の位置付けを連合会に移行しましたが、名称は変更されず、事業としても会員の相談、監査、意見の代表、総合調整が規定されているため、今後も引き続き、中央会が果たすべき基本的な機能であるJAGグループの結集軸として、持続可能な北海道農業の確立、農業者の営農と経営の安定、それを支えるJAをサポートして参りますので引き続きご支援、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

さて、昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で72年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」

の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

総合事業を展開しながら安全・安心な農畜産物の生産と、豊かな生活に役立つ購買品の供給、地域の豊かな暮らしと経済活動のために寄与する信用事業、総合的な暮らしの保障のための共済事業、健康な日常生活を営むための医療・福祉事業のほか、環境問題や子供の貧困問題などへの取組み等、地域社会に貢献するため様々な社会的取組みも行なわれております。

また、昨年の北海道胆振東部地震のように大規模災害が発生した際には、組合員・JA・連合会等の間における農業機械・発電機等の融通や被災地への人的・物的支援、被災地農産物の選果受入、協同組合間による募金活動など、組織内・外を問わない助け合いの精神による支援活動・行動によって、被災地域の復興・復興支援に大きな役割を果たしている

るところです。このように協同組合は社会と地域の人々の暮らしのために、永年に亘って多くの分野でその役割を発揮してきているのです。

そのような中、「協同組合の思想と実践」がユネスコ無形文化遺産に登録され、更に昨年4月には、我が国の農協、漁協、生協、労働金庫、森林組合等の協同組合が、協同組合間の連携によって力を結集し、地域課題の解決を目的として日本協同組合連携機構（JCA）が発足したところだ。

昨年開催した第29回JA北海道大会では、前回大会で設定した将来ビジョンである「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」を継承し、「農業所得の増大と、多様な担い手の確保・育成」と「次代につなげる協同組合の価値と実践」に向けて、JAGグループが一体となって取り組むこととしております。

JAに集う組合員、役職員の皆様は、競争ではなく共生の社会を創り

出す社会システムの一つとして世界的に評価され、その価値と役割を高め始めている協同組合の仲間であることを誇りとしながら、対話運動の実践を通じて、信頼と絆を土台にした新たな協同組合の価値創造と、食と農でつながるサポーター550万人づくりによって、協同活動の輪を広げて頂きたいと考えております。

このことが新自由主義経済への対立軸としての協同組合の存在意義を高め、永年に亘り先人が築き上げた地域農業並びに地域社会の基盤をさらに発展させ、持続可能な農業と地域社会へと繋がるものと確信しております。

最後になりますが、JAGグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様から夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることを誓い申し上げます。農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。

## 11月は、労働保険適用促進強化期間です!!

**\*事業主の皆さん。労働保険の加入はお済みですか。**

**\*労働保険に加入して、従業員の方々が安心して働ける職場にしましょう。**

労働保険とは、労災保険と雇用保険の総称で、労働者の生活の安定、福祉の増進等を図ることを目的に、国が直接管理運営している保険です。農林水産業の一部を除き、労働者を一人でも雇用する事業については、法人・個人を問わず加入が義務づけられています。

**\*農業は、個人経営の事業で常時5人以上の労働者がいる場合適用事業所となり加入する義務があります。**

したがって常時5人未満については、暫定任意適用事業となります。(任意で加入可能)

**\*法人経営の事業は、常時一人でも労働者がいる場合適用事業所になります。**

問い合わせ先 厚生労働省北海道労働局総務部労働保険徴収課  
(011-709-2311)

または最寄りの労働基準監督署・公共職業安定所

**えんゆう農協の担当は、共済課（本所・各支所）です。**

## 労働災害保険とJA傷害共済に加入してWの保障!!

ご存知のことと思いますが、農作業の機械化が進み、毎年度農作業中の事故が多数発生しております。

農業は、他の産業に比べて事故リスクが高い産業になっているのが現状です。

**万一の農作業事故に備えて労災保険傷害共済に加入して下さい。**

**\*特にアルバイト使用人等雇用労働者がいる事業主は必ず労災保険に加入して下さい。**

万一の時治療費は全額支払われますし、休業補償等も支払われます。それ以上に相手に対し変な気を使わずに治療に専念してもらえます。

**労災保険・雇用保険のご相談は、共済課まで!!**



北海道農業協同組合中央会は平成27年の農協法改正により、令和元年9月30日をもって法律上の位置付けを、農業協同組合連合会に移行しました。改正法では、名称は変更しないことが認められ、事業としては会員の相談、監査、意見の代表、総合調整が規定されており、法律上の位置付けは変わるものの、中央会が果たすべき基本的な機能は変わらないと認識しております。

組織変更に伴い、9月30日に本会役員職員に対して飛田会長より訓示を致しました。訓示の内容については、「JA北海道中央会」のYouTubeチャンネルよりご覧いただけます。

今後も引き続き、JAグループの結集軸として、持続可能な北海道農業の確立、農業者の営農と経営の安定、それを支えるJAをサポートする役割をしっかりと果たして参ります。



## JA北海道信連



10月5、6日、アクセスサッポロで開催された、こどものまち「ミニさっぽろ2019」に昨年に続きブース出展しました。「ミニさっぽろ」は、子ども達を対象にした職業体験のイベントであり、JAバンクのブースでは各ブースからの依頼を受けて、給料を用意する仕事を体験してもらいました。

子ども達に仕事の大変さや楽しさ、そして金融の大切さを伝える機会を提供することができました。



## JA共済連北海道



JA共済連北海道は、平成20年より地域貢献活動の一環として、交通安全啓発運動を北海道警察本部と連携し「旗の波運動」として取り組んでいます。街頭で小旗等を振り、ドライバーに交通安全を呼びかけ、交通事故の撲滅、および交通安全意識の向上を目的に実施しております。

今年度も札幌地区では9月27日に約50名で共済ビル前の街頭で実施しドライバー・歩行者へ交通安全を呼びかけました。



## ホクレン



GAP（農業生産工程管理）の推進に向け、ホクレンは、農場評価の演習を盛り込んだ実践研修会を8月26～27日に札幌市内の学校法人・八紘学園北海道農業専門学校を会場に開催しました。参加者は道央圏のJA担当者・連合会職員など約10名で、日本生産者GAP協会の田上隆多事務局長を講師とし、農場評価制度の基本学習や会場となった同校農場にて実際の調査を演習しました。参加者の各組織での今後のGAP推進に期待しています。



## JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

紙面をリニューアルし、より読みやすくさらに健康に役立つ医療・健康情報を発信しております。10月発行分にはプレゼント付きアンケートもごさいますので是非応募にもチャレンジしてみてください。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



# 畑作

## ■ブロッコリー

全道におけるブロッコリー栽培は、平成二十年以降、約二五〇〇ヘクタールで推移しています。一方、管内三丁Aでは、出荷施設や育苗の作業委託等を整備して作付を推進してきましたが、平成二十四年をピークに作付面積が減少しています(図)。

毎日早朝から収穫をするのが大変ですが、作業機械の投資が少なく、安定的に所得が確保できるので、経営の危険分散を図ることもできます。また、オホーツク管内は夜温が高い日が少なく、病害や生理障害の発生が少ないメリットもあります。

安定生産や作業性の向上のためには、排水対策が重要です。主な病害虫は、

花蕾腐敗病、コナガ、ヨトウガですが、スケジュール防除で被害を低減することが可能です。地域の高収益作物であるブロッコリーの作付を是非検討して下さい。

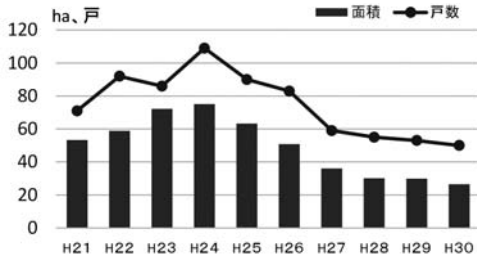


図 ブロッコリー栽培の推移 (普及センター遠軽支所管内)

## ■たまねぎ

今年のたまねぎは、病害の発生は少ない傾向でしたが、ネギアザミウマが多発し、被害を受けた場合は見られませんでした。

ネギアザミウマは、六月上旬から七月上旬までの雨量が少ない年に多発します。心葉付近の葉のすき間で伸長中の葉を加害し、食害痕は葉の表面がカスリ状に色が抜けて白くなります。激発すると、畑全体が白っぽく見えるようになります。

ネギアザミウマの重点予察時期は六月上旬頃です。心葉付近のわずかな被害が大多数の株で認められたときに防除を開始します。また、被害が少なくても、七月十日には薬剤散布を開始します。その後、十日間隔で防除を行います。

これまで高い防除効果があったピレスロイド剤に対し抵抗性をもったネギアザミウマが確認されています。連用や多用は避け、効果が劣る場合は他系統の薬剤を検討しましょう(表)。

表 たまねぎのピレスロイド剤抵抗性ネギアザミウマに対する防除効果

| 効果の高い薬剤            | トクチオン乳剤        |
|--------------------|----------------|
|                    | ディアナSC(2,500倍) |
|                    | ファインセーブフロアブル   |
| やや効果は劣るが被害抑制に有効な薬剤 | ディアナSC(5,000倍) |
|                    | リーフガード顆粒水和剤    |
|                    | オルトラン水和剤       |

(平成26年度 中央農試 一部改変)

# 畜産

## 『ほ育期のカゼひき対策を再確認』

### 一 冬に向けての寒冷対策

11月の始まりは、平均気温が10℃以下と寒さを感じやすく、子牛がカゼをひきやすい時期です。子牛は成牛より寒さに弱く、寒冷ストレスを受けやすいです。ストレスを受け始める気温は生育ステージで異なります(表一)。

表1 寒冷ストレスを受け始める気温

| ステージ | 気温   |
|------|------|
| ほ育牛  | 9℃   |
| 育成牛  | 0℃   |
| 泌乳牛  | -24℃ |
| 乾乳牛  | -14℃ |

NOSA | 道央  
ホームページより

### 二 寒冷ストレスの影響

持続的に寒冷ストレスを受けた子牛は、増体が遅れ、免疫力の低下により感染症のリスクが上昇します。寒さを感じさせない早めの対策を実施しましょう(表二)。

表2 具体的な対策

- ・板やシートで低い天井をつくる
- ・カーフジャケットの着用
- ・ヒーターの活用
- ・敷料を豊富に入れる
- ・すのこの活用
- ・スタイロフォーム等の断熱材の活用
- ・すきま風や冷気が入らないように板などですきまを埋める



写真2 敷料を豊富に投入した牛床

ジャケットを着せることは体温を保つことに効果があります。写真一のように安価な「紙袋ジャケット」は腹と腰の保温に効果的です。

また、敷料を蹄が隠れるくらい豊富に投入しましょう。写真二のように敷料の下にすのこを敷き、その下に牛床マット、断熱材を敷くと、腹冷えの防止や保温対策につながった事例があります。



写真1 紙袋を着せた子牛 ※体温は装着後20分で調査

### 三 低コストでできる寒冷対策の例

# 秋の農事部懇談会開催について

例年実施しております秋季農事部懇談会を下記の日程により開催いたします。  
日程上、都合の悪い場合は、本所営農課若しくは各支所までご連絡をお願いいたします。

## 【秋季農事部懇談会日程】

|           | 午前<br>10:00~12:00       | 午後<br>13:30~15:30                    |
|-----------|-------------------------|--------------------------------------|
| 11月27日(水) | 屯市・5の2・5の3<br>JA本所会議室   | 4の3・5の1<br>JA本所会議室                   |
| 11月28日(木) | 開盛・札富美・旭<br>JA本所会議室     | 富美・上富美<br>富美住民センター                   |
| 11月29日(金) | 4の1・4の2<br>JA本所会議室      | 遠軽・学田・清川<br>社名淵・瀬戸瀬第1、2<br>JA遠軽支所会議室 |
| 12月2日(月)  | 安国・生田原・清里<br>JA生田原支所会議室 | 丸瀬布・白滝(※)<br>白滝国際交流センターコピエ           |

※丸瀬布・白滝地区の懇談会につきましては、13:45~となります。

### 農業・農協のイマがわかる

目的からわかる  
法人化のかたち

令和時代の  
安全保障は  
どうあるべき?

畜産物の  
売り方・トレンドは?

別冊  
付録

お申し込みはお近くのJA本・支店(所)へ

### 地上 JA自己改革

① 農業者の所得増大 ② 農業生産の拡大  
③ 地域の活性化  
の推進に役立つ情報満載!

地域農業の担い手に JA青年組織盟友に JA役員にも

JAグループ 家の光協会  
〒162-8448 東京都新宿区山谷給河原町11  
TEL 03-3266-9039 <http://www.ienuhikari.net>

読者と編集部が交差するフェイスブック  
地上 Facebook

# 理事会のあらまし

## 第10回理事会

(令和元年10月24日)

### ◇報告事項

1. 総務委員会の開催結果について
2. 第20回J A えんゆうカップパークゴルフ大会結果について
3. 第7回組合長杯少年少女野球大会結果について
4. 組合員の異動状況について
5. 専門部会の開催結果について
6. 令和元年度 前期内部監査報告について
7. リース資産の取得について
8. 破綻先（訴訟案件）の最終整理結果について
9. その他

### ◇議案

1. 令和元年度 賦課金の賦課徴収について  
原案通り承認されました。
2. 令和2年度以降の賦課金賦課基準の変更について  
原案通り承認されました。



3. 哺育育成施設建設運営委員会の設立について  
原案通り承認されました。
4. 冬の定期貯金キャンペーンの実施について  
原案通り承認されました。
5. 一日皆貯金の実施について  
原案通り承認されました。
6. 出資金の一部譲渡について  
原案通り承認されました。
7. 固定資産の処分について  
原案通り承認されました。
8. 農業信用基金協会に対する特別出資金の抛出について  
原案通り承認されました。

**3つの特集** “いま”知りたいテーマの特集が毎月3つ

らくピカ  
掃除術

最高!  
ご飯のお供

A 100歳まで健康に生きる

年6回別冊付録が付きます

**ぜひご購入ください!**

家の光 11

特集 らくピカ掃除術

特別付録  
A1時代の暮らしと健康  
わたしのSDGs  
活動とSDGs  
監修 石川博雄

**健康** 健康寿命100歳をめざして

**手芸** 手軽に作れて暮らしに役立つ

**料理** 毎日のごはん 作りの強い味方

読みたい記事がさっと見つかる!!

食と農から始まる。JAグループのファミリーマガジン

定価(税込)

- 普通月号 629円
- 付録月号(1・4・5・7・9月号) 922円
- 家計簿付き12月号 1,027円

※消費税変更にとともない、2019年12月号より定価改定いたします。

お申し込みはお近くのJA本・支店(所)へ JAグループ 家の光協会 〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11 TEL 03-3266-9039 <http://www.ienohikari.net>

## 出会い、暮らし、思い出。そして、別れ・・・。

人生最後の葬祭の儀式。

それは故人の哀悼の念を捧げる厳粛な場ではなくてはなりません。

えんがる斎場は、突然に訪れた予告のない儀式をつつがなく執り行うため、悲しみに暮れるご遺族に、最良の方法と、こまやかな心くばりでご奉仕いたします。

個人葬をはじめ、多くのご会葬の方々をお迎えする大規模な社葬、団体葬など、宗教・宗派を問わず、最新の設備で、葬祭に関するすべてのことをお手伝いさせていただきます。

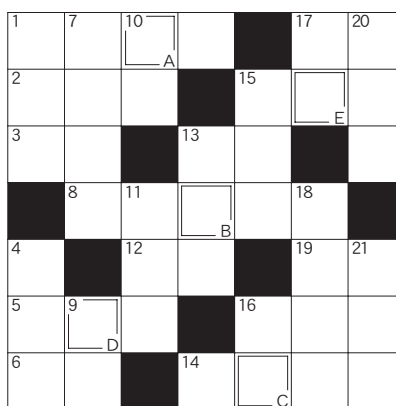


〒099-0401 北海道紋別郡遠軽町学田2丁目6番地1

**TEL (0158) 42-9898**

FAX (0158) 42-9933

# プレゼント付きクロスワードパズル



|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| A | B | C | D | E |
|   |   |   |   |   |

10月号の答えは「コガラシ」でした。紅葉が綺麗な時期となりました。当選者は下記の方々です。

湧別町南兵村三区 花木 蓮さん  
 湧別町札富美 片岡 満雄さん  
 遠軽町白滝 渡辺百合子さん

## ～応募方法～

応募用紙に答え・住所・氏名を明記し、身近な話題・変わった出来事等を書き添えてFAXにてご応募下さい。正解者の中から抽選で毎月3名の方に、粗品をプレゼント致します。

締め切り 11月25日(月)

### ヨコのカギ

- 1 手にはめる防寒具
- 2 良い香りがする——キャンドル
- 3 リンゴの芯の周りに入っていることも
- 5 つらさをぐっと耐え忍ぶこと
- 6 穴を開ける工具
- 8 結婚指輪をはめるところ
- 12 餅をつく人が手に持ちます
- 13 冬空から降る白い物
- 14 ロシアの首都です
- 15 怖い話を聞くと凍りそう
- 16 住み込みではありません
- 17 無地の物には付いていません
- 19 トナカイもこの仲間

### タテのカギ

- 1 毛糸や棒針などを使って楽しめます
- 4 年賀状を書くために買ってこなくちゃ
- 7 積み上げて塀を作ること
- 9 ポンポンと突いて遊びます
- 10 ツキノワ、ホッキョクといえは肌のこと。ドライ——
- 11 食用にするユリの鱗茎(りんけい)
- 13 OPECは——輸出機構の略称です
- 15 もろみなどを搾った後に残る物
- 16 水道、電気と並ぶライフライン
- 17 グルメとも呼ばれる——家
- 18 AMを聞こうかな、FMにしようかな
- 21 言葉のキャッチボールです

## 読者の声

大型台風19号、首都圏直撃で大変です。

地球温暖化のためかな？

(匿名)

ここ最近の台風は、突然進路を変えるだけではなく、段々と勢力を増してきている様に思えます。

先日は暖かったのに、最近は風が強く、寒さが身にしみます。ビートの収穫作業が始まりました。お天気が続いて欲しいです。

(匿名)

寒暖差が激しくなる時季になりました。順調に収穫作業が終わると良いですね。

酪農家はコーン収穫も終わり、畑耕しだと思えます。寒くなりますが気を付けて、あと少し頑張ってください。

(匿名)

今年は何年かぶりに我が家の果物が豊作の年につづかり、小さな「姫りんご」、「ぶどう」をたくさん収穫することが出来、「ジャム」やぶどうはご近所におすそ分けをしました。

(匿名)

収穫後も農作業はまだまだ続きますが、一段と寒くなる頃です。体調管理にお気を付けてください。

何年かぶりの豊作ということ、りんごやぶどうが沢山収穫出来て良かったですね。



